

# 新しい「有料指定ごみ袋」の3つのポイント！

7月1日から  
新しいごみ袋に！



※現在のごみ袋と大型ごみシールは  
令和4年9月30日まで使用できます。

## ①プラスチック製容器包装などは、 無料の地域資源回収へ！

燃えるごみのうち、プラスチック製容器包装が容積比で40%占めているといわれています。このうち『できることから、できるだけ』分別し、無料で回収する地域資源回収に出すことで、プラスチック製容器包装の分別回収開始前に使用していた袋より、ワンサイズ小さいごみ袋に切り替えることができます。



透明または半透明のビニール袋に入れてネット状の袋の中へ



## ②ワンサイズ小さい袋で 負担が少なく！

新しい「有料指定ごみ袋」では、1リットル当たりの価格は上がります。しかし、プラスチック製容器包装や紙類の分別、食品ロスを出さない工夫によりワンサイズ小さい袋に切り替えることで、プラスチック製容器包装の分別回収が始まる前と比べると負担は少なくなります。

【切り替え例】

分別回収前

燃えるごみの日に「かてい用(大)」の袋を使用 (400円/10枚)

これから

燃えるごみの日に新しい有料指定ごみ袋「かてい用(中)」の袋を使用(336円/10枚)

その差、64円の減！

分別回収などにより新しい(中)の袋を使用

分別回収の開始前にこれまでの(大)の袋を使用



ごみ袋代の負担も減！

※これまでの「もえるごみ かてい用(中)」の袋から、「新しい有料指定ごみ袋 かてい用(小)」の袋に切り替えると、34円の減！

## ③「燃えるごみの日」にも「燃えないごみの日」にも 使える「指定ごみ袋」へ！

新しい「有料指定ごみ袋」は、「燃えるごみの日」にも「燃えないごみの日」にも使うことができます。このため、ごみを出す機会が少ない「燃えないごみ」の袋を準備する必要がなくなり、便利になります。

また、燃えないごみを出せる袋が大きくなるため、これまで大型ごみとして出していたもので袋に入るものは、有料指定ごみ袋で出せるようになります。

必ず守ってください

《燃えるごみ》



燃えるごみだけを入れて燃えるごみの日に出してください

《燃えないごみ》



燃えないごみだけを入れて燃えないごみの日に出してください